



ましみずの里

天童市立高揃小学校
学校だより No.3
令和5年 6月7日
校長 齊藤厚志

毎月7日は「高揃小 いのちの日」 ～自他の生命の尊さ・よりよい人間関係～

これまで以上に、自他の生命を大切にする子供たちを育てたいという思いから、全教職員で話し合い、今年度より毎月7日を「いのちの日」に設定し、特に重点的に取り組もうということになりました。

1回目の今日は、担当より全校生に向けて次のような「いのちの日」のねらい等についての話をしましたので、どうぞ一読ください。2回目以降は、子供たちの考えも取り入れながら、自他の生命を大切にするための話し合い、ビデオの視聴や読み聞かせ、校長によるいのちの講話、児童会による取り組み、よりよい人間関係を学ぶエンカウンターなどを行っていく予定です。

また、県いじめアンケートへのご協力、大変ありがとうございました。金曜日に子供たちにもアンケートを行い、子供たちが笑顔で学校生活を送れるよう、来週の水曜日までの期間、「にこにこ面談」を実施します。「いじめ見逃し0」を目指し、保護者の皆様と情報共有・協働しながら、子供たちの心に寄り添い、迅速・丁寧に対応していきたいと存じますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



高揃小学校の児童のみなさん、これから少しの間、私からみなさんに大切なお話をします。高揃小学校のみなさんが明るく楽しく安全に安心して学校生活を送るためのお話です。

突然ですが、みなさん、これからする質問に心の声で答えてください。みなさんにとっての学校生活はどうか。楽しいですか。安心して過ごせていますか。いやな事があったり、大変なことがあったりしていませんか。もし、「楽しい」より「いやだな、不安だな。」という気持ちの方が大きい人が

いたら、つらいことを思い出させてしまうかもしれません。そういう人がいなくなるようにこれから高揃小の児童のみなさん、そして、全ての先生と一緒に取り組んでいきましょう。

今年度は、毎月7日を「いのちの日」とします。「いのちの日」というのは、いのちの大切さについてみんなで考える日です。それでは、「いのちを大切にする」とはどういうことでしょうか。それは、「まわりの人たちや自分、そして命あるすべてを大切にする。」ということです。それでは、どのように大切にすればよいのでしょうか。それをみんなで考えていきましょう。



今日はいのちについて考える日のはじめの日です。このお話を真剣に聞いてくれたみんなは、すでにいっぱいいのちについて考えました。この放送のあと、各学級でいのちについてさらに考える時間が取ればぜひ話してみてください。

来月からの「いのちの日」は、各学級で考えた取り組みで進めてみてください。先生達も一生懸命に取り組めます。児童のみなさんも、児童会などを中心にできることから始められるとよいですね。

これで私からの大切なお話を終わります。一生懸命に聞いてくれてありがとうございました。

